

## 【巡回指導〈2〉】白河市立 白河中央中学校

日程：2017年2月19日（日）

参加者：白河中央中学校（男子16名） / 田崎先生

指導者：小野章三（元堺ブレイザーズ）

同行者：事務局 / 天谷実行委員長・小色尚子



前回小野コーチと朝ごはんを食べることを約束したみんな。みんなに朝ごはんは何を食べたか質問がありました。この日、朝食を忘れた子がみんなの前でちゃんと摂ります！と宣言をしました。指導では、セッターの視野について、フォームによって見える範囲の違いなど、正しい姿勢の必要性を伝えました。また、スリーメンでは多彩なボールに対する反応、コミュニケーションの大切さを確認しながら指導しました。



跳び箱を使い、ライト・レフト・ミドルからのスパイクに対するブロック対応、フォーメーション、ディグの指導を行いました。最初に何人か跳び箱に乗って、ブロックの感触を体感しました。一気に身長が伸びたみたいで、みんな楽しそうです。小野コーチがブロックの手本を披露し、早速、実行してみます。「フォーメーションや役割を、きちんと自分で考えて意識をしてプレーすること！」小野コーチからの激が飛び交う中、何度も何度も練習しました。



小野コーチより「自分たちのバレーボールになっていないのは何故なのか、みんなで考えること。チームでコミュニケーションを取り、自分たちでルールを決め、自分の役割を全うすること、意識すること。人にはそれぞれに自分にしかできない役割があるようにチームの中でも役割があるんだよ。」と話がありました。次回、自分たちのバレーが形になっていることを期待しながら、2回目の指導を終えました。